

# ●はなせ診療所そよ風だより No.1

1) はじめに、

この度ブログ開設することになった、『はなせ診療所』の内科の吉澤泰介と言います。

去年の4月に、約20年にわたって、京都奥、この山里花背の医療を支えてこられた高橋康廣先生から引き継ぎ、当初全く新しい事づくめで、慣れるのに必死で、振り返ると私の人生の中で一番と言ってもいい位の激動の一年でした。曲りなりにでも少しは形が出来てきたかなあと考えてきたのも、沢山の皆さんの力に支えられたおかげと、心から感謝しております。

思えば学生時代から、無医村で働きたいとの思いが強かった。思い続けたらきっとそこに立てるだろうという気持ちでいたけれど、次第に時も過ぎ抱える荷物も増えてきて、思いの糸も切れかかり、ほぼかなわぬ夢かと諦めかけてた頃、夢かまことか当地に来れる縁に出会い、心から責任と誇りが感じれる仕事に今つけていると実感でき本当に嬉しい限りです。

診療は、西洋医学と東洋医学を駆使し、例えば動脈硬化疾患（脳卒中、心筋梗塞など）は、西洋医学の得意分野であるので西洋医学を、西洋医学の苦手な疾患の冷え性、慢性の病気のアドレナリン、難病などは、漢方を使ったりして、主に漢方や鍼やお灸を多用する内科と東洋医学の専門医です。当地には、京都市の花背山の家があり、キャンプに来た子供達の簡単な外科的処置程度は診ていますが、もちろん必要に応じて外科、整形などの専門病院に送っています。

また診療所の同じ屋根の下には、地域密着型特別養護老人ホーム『花友はなせ』が併設され、デイケアに来られる地域のお年寄りや特養の入所者さんたちの診療にもあたっています。周囲の方からこの施設には医療が付いてるので安心できるという声を聞くたびに、医者冥利に尽き、なお一層頑張らねばと身が引き締まる思いになります。私にとり、心に響く人々との出会いのおかげで四年も浪人したことも、無駄ではなかった。（海に向こうの黒い声に憧れて歌うフォーク、ブルースシンガーにもなりたかったが、）今はあれほどなりたかった医者になって、こちら患者さんの笑顔から元気をもらい本当に良かったとしみじみ思っております。今後もこのブログを通して発信していきますので宜しく御願ひ致します。（下線部は私の大好きなフォークシンガー豊田勇造さん <http://www.toyodayuzo.net/>の作詞から引用）